

第6期雄武町総合計画後期基本計画 策定審議会第3回産業建設・環境部会 議事録

【日 時】 令和4年11月7日（月） 13:30～14:23

【場 所】 雄武町役場別館 大会議室

【出席者】 浜口 隆 部会長 久保 毅剛 部会長代理
中橋 秀紀 部会員 古山 貴弘 部会員 渡邊 孝司 部会員
川口 雅英 部会員 河島 仁 部会員 松本 亜也 部会員
（欠席者）菊地 雄介 部会員 山崎 宏之 部会員
（ 町 ）事務局～横田財務企画課長 渡部財務企画課長補佐
櫛山企画調整係長 本村企画調整係
説明員～大水住民生活課長 安井産業振興課長
田原建設課長 永井上下水道課長

【会議次第】

- 1 開会
- 2 部会長あいさつ
- 3 議事
(1) 第6期雄武町総合計画後期基本計画（案）について
- 4 その他
- 5 閉会

【配付資料】 ・第6期雄武町総合計画後期実施計画（案）

【議事録】

- 1 開会（開会時刻：午後1時30分）～ 財務企画課長

2 部会長あいさつ

「皆様、大変お忙しい中、おつかれさまでございます。本日は第3回専門部会ということで、先日の審議会で事務局から提示のあった後期基本計画（案）の具体的な審議を行うこととなっております。先に開催された専門部会において、委員の皆さまから出されたご意見が、すべてではありませんが、この計画書に反映されているかと思います。そのあたりも含めまして、皆様からのご意見をいただきながら、会議を進めていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。」

（以後、浜口部会長が司会を進行）

3 議事

（1）第6期雄武町総合計画後期基本計画（案）について ～承認

資料に基づき、基本施策の各単位施策の内容について企画調整係長が読み上げ説明後、基本施策ごとに質疑応答を実施。

【政策目標 1 躍動感あふれる産業のまち・雄武】

●基本施策 1-1 農業の振興

→意見なし。

●基本施策 1-2 林業の振興

→意見なし。

●基本施策 1-3 水産業の振興

→意見なし。

●基本施策 1-4 商工業の振興

→意見なし。

●基本施策 1-5 観光の振興

→意見なし。

【政策目標 4 快適感を満たす環境のまち・雄武】

●基本施策 4-13 環境の保全

（部 会 員） 雄武斎場については現在工事中であるが、いつから稼働する予定か。

（ 町 ） 今年8月から工事が始まったが、11月末までに完了予定である。12月1日から稼働できるよう進めている。

●基本施策 4-14 交通体系の整備

→意見なし。

●基本施策 4-15 上・下水道の整備

→意見なし。

●基本施策 4-16 住環境の整備

(部 会 員) 単位施策 4-16-1「良好な住空間の形成」の最後の2行『宅地・住宅の分譲・賃貸に関する情報の集約・提供、コーディネートを充実します』とあるが、具体的にどういったことを検討しているのか。

(町) 前回の専門部会でもお話をしたとおり、今まで何もしていなかったが、今年度、空き家バンクを開設し、住宅を売りたい方や賃貸したい方の情報を把握し、町のホームページ上で、移住者等とマッチングさせたく考えている。また、町内に不動産会社がないことから、町において民間住宅を把握して、その情報提供も含めて移住情報を集約して、ホームページを充実していきたい。

(部 会 員) 念のため確認なのだが、町営住宅の空き情報はすぐわかるようになっていたかと思うが、そういう状況であるか。

(町) そうである。町広報紙でも情報提供し、随時募集している。

【これまでの審議会、専門部会全体を通して】

(部 会 員) 先日開催された第3回策定審議会（の雄武町地域公共交通等に関する町民アンケート調査報告書に基づく意見交換）において、アンケート結果に対する（医療バスの）意見を聴取していたが、あの場で簡単に「医療バス」と言われても、それぞれイメージしていることが全然違うため、あまり意見が出なかったのだと思う。例えば、「医療バス」といっても、40人乗りのバスなのか、20人乗りのバスなのか、あるいはワンボックスカーなのか乗用車なのか、旭川市の病院に行くとしても、それは医大病院なのか市立病院なのか厚生病院なのか、民間経営の病院も含むのかなど、様々な問題があると思う。医療バスに関しては、前回の審議会で部会長がおっしゃっていたように、町長の肝いりで、しかも公約であるため、ただ単に町が「医療バスをやるよ」ということで言っていたのではないと思う。町長もイメージを持っていると思うので、具体的にとは言わないが、ある程度、アウトライン、どういうことをやりたいのかを提示してくれた方が色々質問しやすく、色々な意見が出しやすいのではないかという気がした。

(部 会 員) アンケートを実施することについては、町長の公約の中で明記されていたため実施したかと思うが、医療バスを実施するにあたり病院側からの了承はいただいているのか。どうせ行くのであれば、専門科でなく総合病院でないといけな

いと思うが、連携の話はある程度進んでいるのか。会議時間の都合もあると思う
い前回の審議会場で言えなかったのだが、現在こういった状況なのだろうか。

(町) 町長の公約である「高速医療バス」については、現在、福祉給付課において対応しており、町長の考えはあると思うのだが、事務方においては、輸送車両の大きさなど具体的には定まっていない状況である。どれくらい乗客が見込めるかというのも実証試験をやってみないとわからない。

(町) (病院との連携については) 1 か所、北見市内の病院と話をしていることは聞いているが、それ以外は把握していない。

(町) 具体的には動いていないというところで、どれだけのニーズがあり、どれだけ町外の病院に通っている人がいるのかという実態と要望を把握するため、昨年度、アンケートを実施した。福祉給付課における今後の検討にあたり、現在、総合計画策定審議会の委員が委嘱されていることから、委員の意見も聞きたいということで、意見交換という形で皆さんから意見をいただいた。ただ、河島委員が言われるように、具体的な話が無ければ、アンケート結果を聞いて「どう思いますか」と意見を聞くのも、進行の仕方が厳しかったかと思う。町長のイメージとしては、旭川方面と北見方面、公共交通機関を使うと日帰りできないような場所へ日帰りで送迎するようなものとなっている。

(部 会 員) 例えば、月に 1 回から始めて、需要があれば 2 回、3 回と増やしていくなどあると思うのだが、スタートラインとなる構想について、ざっくりとしたものでも良いので、案があった方が、意見が出やすいと思う。

(部 会 員) 町長の公約としては、旭川市と北見市(方面)であったという認識でよろしいか。高速医療バスは、1 日で帰ってくることが難しい場所を日帰りで帰ってこられるような輸送手段として使うということか。

(町) そうである。

(部 会 員) 実際そうであったけれども、アンケートを実施した結果、紋別市に通院している方が結構多かったということなのか。私は数年前に雄武町に引っ越して来たので公約をそもそも知らなかったため、紋別市への医療バスが公約に含まれていたのかと勘違いしていた。今の事務局の話を聞くと、1 日で帰ってこられない場所にバスを走らせる予定だったけれども、実際アンケートを実施したら、それが違ったというか、実際は紋別市が一番多かったという話で、「では次どうしましょうか」という段階にいるということではよろしいか。

(町) 公約の中では『二次医療として高度医療が受けられる旭川市・名寄市・北見市

等への高速医療バス等の実現を図ります』とある。雄武町の二次医療施設は紋別市（広域紋別病院）であるため、実際に通院する方は多いと思う。基本的に紋別市であれば日帰りできると思うが、アンケートの結果では紋別市が最も多かった。町長が考えているのは、宿泊をしなければならない場所である。また、今後免許を返納する方、自家用車でやっている内は良いけれども、将来、車を手放した後、病院に行くにも宿泊しなければ通院できないような場合は、雄武町から転出し病院の近くに転居してしまうという人口減少にも拍車をかけているという部分もあるため、そういった人口減少対策も含めて町長の公約として掲げている。今回アンケート調査を実施して、ある程度実態把握ができたが、雄武町から通われている方は何曜日が一番多いのかなど、そういったところまで調査してからでないと、誰も通院しない日や曜日に運行日を設定してしまったり、また、運行日の前日や翌日に通院する人が不公平感を訴えるという可能性があるため、まだ実証試験はできないと思う。

- （ 町 ） 同じ旭川市でも色々な病院があるのに、それを一軒一軒回るのかだとか、予約・診療時間も違うだとか、そうしたら駅に降ろすとなってもそこからの移動をどうするのかだとか、旭川市に行く途中に名寄市に寄るのか、北見方面についても同様なことをするのかなど、様々な問題がある。今回のアンケートで少しぼやけてしまったのは、きっとバスを利用するのが一番楽であるけれども、家族にも仕事を休んでもらって通院に付き添ってもらうのもなかなか頼みにくいといったこともあるのだけれども、「宿泊費の補助があれば、別にバスでは行かない」といったような意見もあるのかと思う。そういった方向性も含めて意見を聞くというのが今回のアンケートだった。町長の公約であるため、当然「バス」というのがメインになるのだが、議会における議論等で話を聞いているかもしれないが、やはり現実的には、交通路線として北紋バス等が運行されている中で、独自路線のバスを運行してお客の取り合いになってもいいのかということなど諸問題があり、どこに落ち着いたらいだろうかというのが今の状況である。実際には色々なハードルがあるということも今回のアンケート調査を実施したことで浮き彫りになったかと思う。町長の頭の中には当然考えはあるのだが、色々な可能性を含めて検討していくため、意見交換の際の町側からの提示（イメージ）が広範になってしまったことによって、「どう質問したらいいのかな」と思うってしまうのは良くわかる。ざっくばらんな意見をいただければというお話だったかと思う。

(町) 先日新聞に掲載されていた紋別市の医療バスについては、市議会において「実証試験を実施する」と表明し、福祉部門で事務を執り行っている。この医療バスについては、北見日赤病院に協力を依頼し、通院のため来院した紋別市民に対してアンケート調査を実施して、利用が最も多い火曜日と木曜日に運行日を設定したとのことである。当初、30人ぐらいの乗客を見込んでいたが、新聞報道によると、実際は3人しか乗車しなかったという状況である。紋別市では商工労働課が公共交通の事務を担当しており、雄武町は財務企画課が担当しているが、あくまでも福祉施策であるため、紋別市においても医療バスは福祉部門が担当しているとのことである。現状、バスで通院している市民が1、2人しかいないため、路線バス会社に迷惑がかからないということで開始されたが、今後、場合によっては、紋別市の地域公共交通の担当課長も言っていたのだが、実際、将来的には近隣市町村（雄武町・興部町・紋別市・湧別町）が連携して広域で医療バスを運行できれば良いのではという話を事務担当者レベルではしている。雄武町起点の運行でなくとも、例えば興部町が起点となるならば、町としては、出発時間・到着時間までに興部町まで送迎すれば良いこととなる。前回の意見交換は、アンケート調査の結果を報告して「何かありませんか」という聞き方であったため、少し意見は出づらかったかもしれない。

(部 会 員) なかなか難しい問題である。

(町) 例えば週1回など、雄武町の患者について診療日を水曜日に変更できるのであれば、毎週水曜日にバスを走らせるといったようなことができればいいのだが、出張医の出勤日の都合もあるため、日程を変更できない町民については乗せていくことができず、結局は公平にはならない。毎日運行できればいいのだが、財政もそこまで許さないで、なかなか難しいという気はしている。今回アンケートを実施したのも、財政的な負担だけであれば、例えば交通費の2分の1を補助するだとか、宿泊費の一部を助成するだとか、そういうことでも良いかと思うが、なかなかそういうことだけでもなく、やはり高齢になると1泊して病院に行くというのは体力的にも大変だと思うため、その辺りも総合的に勘案して、福祉給付課において詳細な分析と方向性の検討を進めている。

(部 会 員) 本当に難しい問題だと思う。町長が公約に掲げたようにアンケートを実施した中で進んでいくかと思うが、総合病院との連携など色々な課題があると思う。これから少しずつ、煮詰めていくしかないという状況かと思う。

(部 会 員) 単純な質問なのだが、達成目標を一通り見ていた中で、担当外で申し訳ないが、

林業の振興の達成目標の「森林作業員数」の現状の数値と目標値が 14 人となっており、現状を維持するということだと思うのだが、その反面、町有林・私有林の除間伐面積については大幅にプラスになっている、おそらく ICT やデジタル技術等々を活用して生産性を上げることによって解決するということに考えているのかと思ったのだが、デジタル技術等々を駆使して数字を上げていくという認識でよろしいか。

(町) 作業員については減少傾向にあるというところがまず前提にあり、作業員が高齢化していく中で作業員を減少させないためには、新たな担い手、若い人たちを育成していかなければならないため、森林環境譲与税を活用するなどして、まずは人数を減らさないことを目標にしている。除間伐面積についても、令和元年度で 210ha、令和 2 年度で 220ha と、年によって波がある。除間伐を放置している森林では木が育たないので育林のサイクルが成り立たないため、森林組合が私有林の持ち主に対して助成金などの優遇措置を紹介しながら、「ぜひ、除間伐の時期なので、やりませんか」と働きかけるなどして除間伐面積拡大の取組を行っている。

(部 会 員) 森林の整備に対する補助金は結構な額が交付されており、年度によって貰える補助金が何千万単位で上下する。令和 3 年度の数値（現状値）は、おそらく補助金下がっていた時の面積である。今年度は良い感じであるためもう少し面積は多いと思う。補助金が（毎年平均して推移して）何千万という形で交付されれば良いのだが、その年によって国の財政や色々な情勢によって上下が激しい。そのような中での平均的な数値として 240ha ぐらいを目標としているということである。

(部 会 員) 240ha という数字が現状の値とかけ離れていたため、「どうやって目指していくのだろう」と思ったが、そういう数字ではないということか。

(部 会 員) 補助金が減った時は苦しくなり、「補助金が少ない分の仕事をやりなさい」ということなので、雇いすぎてしまうと早い段階で離職という形になってしまう。今回、森林環境譲与税が創設されたので、（国の補助金が）あまりもらえなかった年は減額分の補填金として（譲与税を活用した町の）補助金を活用するということで産業振興課の担当と共に進めている。そのため、補助金が毎年平均になり、長く働くことができ、大体 240ha ぐらい（の除間伐ができる仕事量を確保できる）かと思う。

4 その他

下記の３点について、企画調整係長から補足。

- 基本計画の策定にあたり、審議会委員のほか、広く町民から意見を求めるため、第３回策定審議会後から１１月１４日（月）まで、「第６期雄武町総合計画後期基本計画（令和５年度～令和９年度）（案）」のパブリックコメント（意見募集）を実施している。
- 第３回策定審議会で配付した「答申に向けた意見（産業建設・環境部会）」については、可能であれば次回の専門部会において提出いただきたい。
- 第４回専門部会は予定通り１１月１０日（木）１３時３０分から開催する。今回配付した実施計画書（案）に基づき、担当課から主要な事業を説明する。

5 閉会（閉会時刻：午後２時２３分）